

第3学年 総合的な学習の時間 学習指導案

1 単元名

同和問題と自分

2 単元の目標

同和問題について正しく理解し、同和問題解消に向けて、正しく行動しようとする意志を育む。

3 単元の流れ (全16時間)

Ⅱ「結婚」を考える (5時間)

時	時案	ねらい	学習活動	資料	評価規準
1	結婚相手	結婚相手に望むことを考えることで、「結婚」のイメージをもつことができる。	【気づく】 ・結婚する相手に望む条件を考え交流する。 【分かる】 ・同和地区のことを気にして、相手の身元調査をしてみると言い出したらどうするかを選び、その理由をノートに書き、交流する。 【見つめる】 ・自分が相手の家族に身元調査をされたと分かったらどうするか、全体で交流する。 ・もう一度、自分の家族が相手の身元調査をしてみると言ったときにどうするかを考える。	・交流用セット (付箋・ペン・模造紙) ・ノート	自分が結婚する場合のことをイメージし、相手に望む条件を付箋に書き、班内で発表している。
2	父の経験	父の経験から、同和地区にかかわりがあることで、結婚を断られることがあることが理解できる。	【気づく】 ・資料の文章①②を読み、思ったことをノートに書き、交流する。 【分かる】 ・父が結婚を断られた理由の不合理さに気づき、どのように思うか学級で交流する。 【見つめる】 ・本時の学習で考えたことをノートに書く。	・文章資料①② 【部落問題学習の授業ネタ】 ・ノート	資料から、父の体験の辛さを感じ取り、結婚差別が間違いであることをノートに書いている。
3	映像資料視聴	部落差別がまだ存在していることを実感し、自分の問題として真剣に考えることができる。	【気づく】 ・メモをとりながら映像資料「あなたに伝えたいこと」(0～29:50)を視聴し、感想を書く。	・映像資料「あなたに伝えたいこと」 ・ノート	部落差別の存在を知り、その差別によって辛い思いをしている主人公の気持ちを考えている。
4	真央の気持ち	差別から逃げない選択をした真央の思いに触れ、差別に苦しむ人をつくってはいけないという思いを強める。	【気づく】 ・課題について考えながら、映像資料で結婚する相手に伝えようとしたことは何であったのかを確認する。 【分かる】 ・真央の気持ちを考え、交流する。 ・真央が拓海に母親の実家が同和地区であると告げたときの気持ちを考え、交流する。 【見つめる】 ・本時の学習で考えたことをノートに書く。	・映像資料「あなたに伝えたいこと」 ・ノート	同和地区と関わりのある真央が、深く悩みながらも差別から逃げない生き方を選択した思いに共感し、差別に苦しむ人をつくってはいけないという思いをノートに書いている。
5	伝えられたら	結婚相手に同和地区とかかわりがあることをうちあけられた時、共に乗り越えようとするのが大切だと理解することができる。	【気づく】 ・自分の母が被差別部落出身であることを知り、結婚する相手に伝えた時の主人公の気持ちを交流する。 【分かる】 ・結婚しようと考えていた相手から、同和地区とかかわりがあると伝えられたらどうするかを考え、交流する。 【見つめる】 ・本時の学習で考えたことをノートに書く。	・映像資料「あなたに伝えたいこと」 ・ノート	自分の結婚相手が同和地区出身だということをイメージし、結婚について考えをノートに書いている。

第4時 真央の気持ち（Ⅱ：「結婚」を考える）

段階	主な学習活動	留意点と評価
導入	<p>【気づく】</p> <p>1 前時を振り返り、同和問題について学んだことを確認する。</p> <p>2 真央が電話で拓海に伝えようとしたことは何だったのかを考える。 ・私のお母さんの実家は同和地区なの…</p> <p>3 課題をノートに書く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>真央は、どのような気持ちで、拓海に「母親の実家が同和地区」であることを告げたのか考えよう</p> </div>	<p>同和地区に対する真央の考え方の変化に気づいた生徒の言葉を紹介する。</p> <p>映像資料で真央が拓海にどのようなことを伝えたのかはつきりさせてから進める。</p>
展開	<p>【分かる】</p> <p>4 真央の気持ちを考え、班で交流しホワイトボードにまとめる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>自分の住むところは同和地区ではないと知った時</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安心した。 ・身元調査されても大丈夫。 ・自分には関係ない。 <p style="text-align: center;">偏見・差別</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>母親の実家が同和地区だと知った時</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ショックだった。 ・拓海に何て言おう。 ・もう結婚できないかもしれない。 <p style="text-align: center;">不安・悩み・弱さ</p> </div> </div> <p>5 4を受けて、考えを学級で交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最初、自分は同和地区とは関係のない話だと思っていたが、母親の実家が同和地区と知ってショックを受けている。 ・母親の実家が同和地区なので、もう拓海とは結婚できないかもしれないと絶望している。 <p>6 真央は、どのような気持ちで、拓海に「母親の実家が同和地区」であることを告げたのかを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母の努力・辛い体験を知って、自分も今の立場から逃げたくないと思った。 ・同和地区への偏見をなくしたいという気持ちを分かって欲しい。 ・差別する人間になりたくない。 ・差別されることを受け入れてしまう人間になりたくない。 ・拓海なら分かってくれる。 ・拓海は差別する側の人間であっては欲しくない。 	<p>真央が「自分の住むところは同和地区ではないと知った時」、「母親の実家が同和地区だと知った時」どちらにも偏見・差別の気持ちがあることに気づかせる。</p> <p>父親が偏見・差別に立ち向かった結果、真央の母親と結婚したことに気づかせる。</p> <p>【補助発問】</p> <p>「好きだから伝える」など恋愛論になる時は、相手も差別される可能性があることや、本当に好きなら告げないのではないかと問い返す。</p> <p>【補助発問】</p> <p>自分が「真央の立場だったら」と問うことで、真央の不安な気持ちや差別から逃げない真央の姿勢に共感しつつ、自分の弱さに気づかせたい。</p>
終末	<p>【見つめる】</p> <p>7 本時の学習で感じたことを書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・真央は、最初、自分の住んでいるところが同和地区でないことに安心していただけ、その思いを抱くことも差別だと分かった。 ・差別から逃げない真央のように自分もなりたい。 ・自分も真央のように強くなり、強く生きていきたい。 ・今の自分では真央のようににはできないかもしれない。 	<p>差別から逃げない選択をした真央の気持ちに気づかせたい。結婚を断られるかもしれないのに伝えた真央の気持ちを大切にしたい。</p>